

# レンジフード取付説明書

取扱説明書・取付説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しく下さい。

壁スイッチ仕様・連動ダンパー仕様で補足説明書が同梱されている物は、それに基づき電気工事を行ってください。

## 安全上のご注意

- 取付けの前、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取付けを行ってください。
  - ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさや切迫の程度を示すために、誤った取扱いをすることを生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
  - **警告:** 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
  - **注意:** 人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容。
- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

記号は行為を禁止する内容を告げるものです。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。	記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。
--	---
- ### 警告

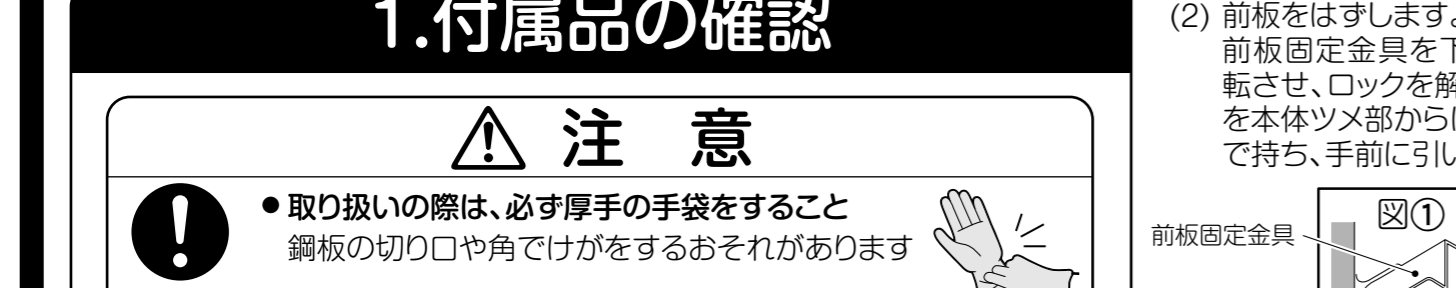
  - **修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと**  
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。  
[分解・修理 改造禁止]
  - **アースを確実に取り付けること**  
故障や漏電のときに感電するおそれがあります。  
アースの取付けは販売店にご相談ください。
  - **自然排気型のストープを使用するときは、空気の取入口（給気口）より十分給気される配慮をすること**  
排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。
  - **電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けてください**  
火災・故障の原因になります。
  - **排気工事をされる場合は建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事を行うこと**  
火災などの原因になります。
  - **レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取り付けること**  
漏電した場合、発火するおそれがあります。  
[埋込禁止]
- ### 注意

  - **運転中は指や物を絶対に入れないこと**  
けがをすることがあります。  
[接触禁止]
  - **レンジフードの取付けは十分強度のあるところを選んで確実に行うこと**  
落下によりけがをすることがあります。
  - **周囲温度が40℃以上になるところには取付けられないこと**  
火災・故障の原因になります。  
[使用禁止]
  - **部品の取付けは確実にすること**  
落下によりけがをすることがあります。  
手袋をする
  - **取り扱いは、必ず厚手の手袋をすること**  
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります。
  - **浴室など湿気が多い場所では絶対に取付けられないこと**  
感電および故障の原因になります。  
[使用禁止]

## 各部のなまえ



## 製品寸法図



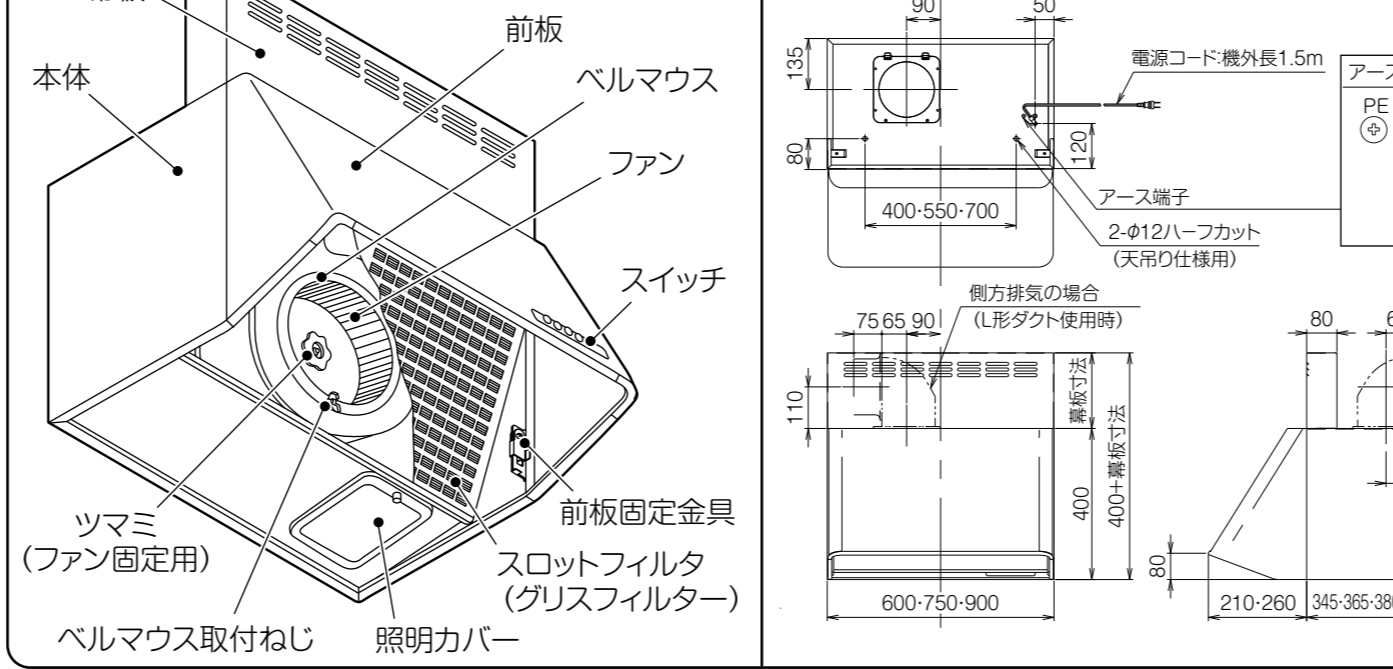
## 付属品

品名	略図	用途
木ねじ		本体の取付けに使います。 (φ4.5×45) 2本
座付ねじ		本体の取付けに使います。 (φ5.1×45) 4本
排気口		本体とダクトの接続に使います。 逆風防止シャッター付きです。
ソフトテープ		排気口とダクトとの隙間をふさぐのに使います。
幕板 (付属品でない場合もあります)		本体正面の目隠しに使います。

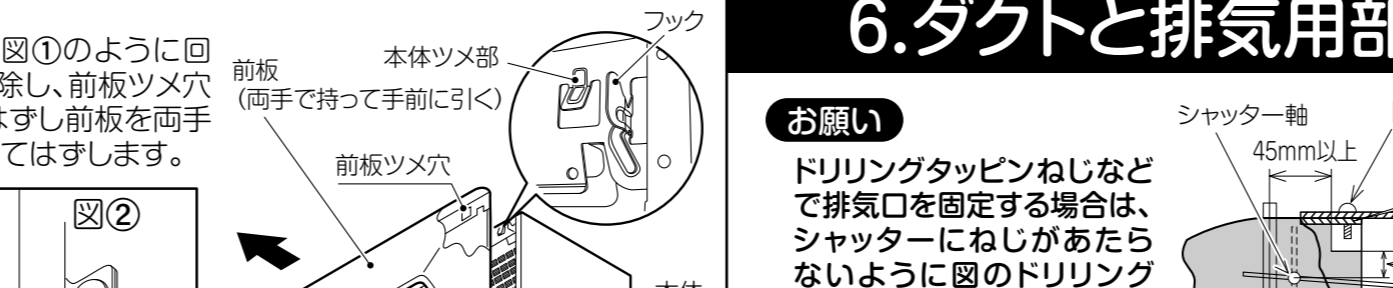
## 取り付け上のお願い

- 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者が行う必要があります。
  - 大工工事（設置のための下地工事等）
  - 配線工事（コンセントの設置、コンセント・コネクター利用以外の配線接続等）
  - 管工事（ダクト配管及びレンジフードからのダクト接続等）
  - **流通業者（販売店）を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別して行ってください。**
- 調理機器の幅はレンジフードの幅以内のものをご使用ください。  
調理機器はレンジフードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。排気効率が低下します。
- 製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。
- 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいちじるしく低下させ、騒音が大きくなりますので使用しないでください。
- レンジフード取付面の補強部に、取付用座付ねじが確実に固定されることを確認してください。本体の取付用座付ねじは、45mmの長さのものをご用意しておりますが、壁下地に石膏ボード等が貼られている場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取付用座付ねじが確実に補強部に届くことを確認してください。
- レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取り付けられないこと。また、横方向50cm以上離して取り付けてください。湯沸器の真上を高熱になるため故障の原因になります。
- 建物が閉鎖されている場合は、約400mm程度の空気取入口を設けてください。
- レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取り付けられないこと。また、横方向50cm以上離して取り付けてください。湯沸器の真上を高熱になるため故障の原因になります。
- 建物が閉鎖されている場合は、約400mm程度の空気取入口を設けてください。

## 各部のなまえ



## 製品寸法図



## 付属品

品名	略図	用途
木ねじ		本体の取付けに使います。 (φ4.5×45) 2本
座付ねじ		本体の取付けに使います。 (φ5.1×45) 4本
排気口		本体とダクトの接続に使います。 逆風防止シャッター付きです。
ソフトテープ		排気口とダクトとの隙間をふさぐのに使います。
幕板 (付属品でない場合もあります)		本体正面の目隠しに使います。

## 取り付け前の調査と準備

- **警告**
  - **修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと**  
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。  
[分解・修理 改造禁止]
  - **レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取り付けること**  
漏電した場合、発火するおそれがあります。  
[埋込禁止]
  - **レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと**  
火災などの原因になります。  
[取付注意]
- **注意**
  - **レンジフードの取付けは十分強度のあるところを選んで確実に行うこと**  
落下によりけがをすることがあります。  
[取付注意]
  - **取り扱いは、必ず厚手の手袋をすること**  
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります。  
手袋をする
  - **周囲温度が40℃以上になるところには取付けられないこと**  
火災・故障の原因になります。  
[取付禁止]

## 取り付け前の調査と準備

1. **取り付け面の強度確認**  
製品を支える強さが必要です。

製品質量	必要強度
600幅	13.0kg
750幅	14.0kg
900幅	15.0kg

  - 板厚が20mm未満の場合には壁に補強板を埋め込み補強板にレンジフードを取り付けてください。
  - 板厚が20mm以上の場合には補強板の必要はありません。
2. **別売部品の準備**  
排気工事に応じた別売部品の準備が事前に必要です。
3. **標準取付寸法**  
本製品の標準取付寸法は調理機器の上面から製品の下端まで80cm以上です。  
（詳細は標準取付例（製品寸法図参照）をご参照ください）  
※ 火災予防条例では、グリルフィルターの下端が調理機器の真上80cm以上必要となっています。
4. **電源コンセント・ブレーカー**  
電源コンセント・ブレーカーは専用のものを設置してください。（交流・単相 100V）  
コンセントは、JIS C8303 2極差込接続器（15A125V）をご使用ください。

## 1. 付属品の確認

- **注意**  
取り扱いは、必ず厚手の手袋をすること  
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります。  
手袋をする  
梱包箱から付属品を取り出し、右上項の付属品一覧により不足がないか確認します。  
お願い 取り付け作業の際はキズ・破損のないよう十分に注意してください。

## 2. 排気方向の決定

- **警告**  
● **メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取り付けること**  
漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります。
- **排気工事をされる場合は建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事を行うこと**  
火災などの原因になります。
- **レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと**  
火災などの原因になります。  
詳しくは、所轄の消防署に問い合わせてください。

## 3. 本体の準備

- (1) **コンセントをはずします。**  
（壁スイッチ仕様のモデルはコンセントがないので②へ進んでください）  
① ツマミを押しながら、  
② の方向へ引き抜きます。

## 4. 排気用部品の準備

- (2) 前板をはずします。  
前板固定金具を下図①のように回転させ、ロックを解除し、前板ツマミを本体ツマミ部からはずし前板を両手で持ち、手前に引いてはずします。
- (3) **スロットフィルタをはずします。**  
スロットフィルタのつとえを持って上にあげ、手前に引きます。  
お願い スロットフィルタをはずす際は、必ず手を添えてください。添えないと落下するおそれがあります。  
※ 天吊り仕様の場合は、製品寸法図に記載されている2-φ12ハーフカットをドライバー等を当ててハンマー等で打ち抜きます。

## 5. 本体の取り付け

- **注意**  
レンジフードファンの取付けは十分強度のあるところを選んで確実に行うこと  
落下によりけがをすることがあります。  
取付注意
- (1) だるま穴用木ねじをねじ込みます。  
だるま穴位置（左右各1ヶ所）に木ねじ（φ4.5×45）を壁面との隙間5mmまで締め付けます。
  - (2) だるま穴用木ねじに本体を引っ掛けた後、座付ねじ（φ5.1×45）で本体取付位置4ヶ所をしっかり締め付けます。
  - (3) だるま穴用木ねじ（左右各1ヶ所）をしっかりと締め付けます。

## 6. ダクトと排気用部品の接続

- **お願い**  
ドリリングタッピンねじなどで排気口を固定する場合は、シャッターにねじがあたりないように図のドリリングタッピンねじ使用範囲内に固定してください。

## 7. 電気配線

- **警告**  
● **修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと**  
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。  
[分解・修理 改造禁止]
- **アースを確実に取り付けること**  
故障や漏電のときに感電するおそれがあります。  
アースの取付けは販売店にご相談ください。
- **交流100V以外では使用しないこと**  
火災・感電の原因になります。  
[使用禁止]
- **配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事を行うこと**  
誤った配線工事は感電や火災の原因になります。  
[取付注意]

## 9. 組み立て

- **注意**  
● **ファンや部品の取付けは確実にすること**  
落下によりけがをすることがあります。  
取付注意

## 10. 試運転

- **注意**  
● **運転中は指や物を絶対にいれないこと**  
けがをすることがあります。  
[接触注意]

製造元: FUJIOH 富士工業株式会社  
〒252-0206 相模原市中央区海野辺2丁目番9号  
TEL 042 (768) 3754 (営業部)

# 補足説明書

本製品は取付説明書に記載されている内容と一部仕様が異なります

取り付けの前に、この補足説明書と、レンジフードの取付説明書を併せてお読みになり、正しく取り付けを行ってください。

「安全上のご注意」「取り付け前の調査と準備」「取付上のご注意」などは、レンジフードの取付説明書に記載されている内容を必ず守って取り付けを行ってください。



配線工事は電気設備技術基準や内線規定に従って法的有資格者が工事を行うこと。誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります。

取付注意

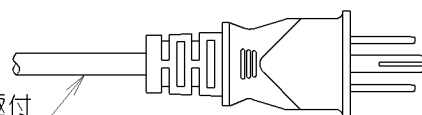


## 電源コード、アース接続について

■電源用として2極接地極付差込接続器(7A 125V)を採用しています。コンセントは JIS C 8303 2極接地極付接続器(15A 125V)をご使用ください。

■アース線の接続は工場出荷時に行われていますので新たに接続する必要はありません。専用コンセントのみご用意ください。

プラグ：2極接地極付



## 電動ダンパー用AC100V出力線について

※製品の仕様によっては出力線がない場合があります。

■電動ダンパーを取り付ける際は、閉端子部を切断して接続してください。

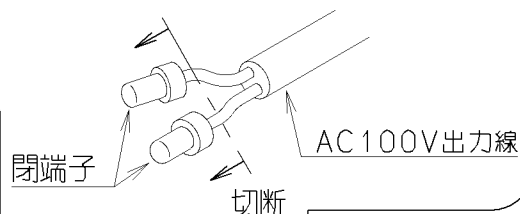


警告

閉端子部を切断する際は、絶対にレンジフードの電源コードをコンセントに入れないこと。感電やショートのおそれがあります。



禁止



9003 C881

# 補足説明書

本製品は取付説明書に記載されている内容と一部仕様が異なります

取り付けの前に、この補足説明書と、レンジフードの取付説明書を併せてお読みになり、正しく取り付けを行ってください。

「安全上のご注意」「取り付け前の調査と準備」「取付上のご注意」などは、レンジフードの取付説明書に記載されている内容を必ず守って取り付けを行ってください。



配線工事は電気設備技術基準や内線規定に従って法的有資格者が工事を行うこと。誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります。

取付注意

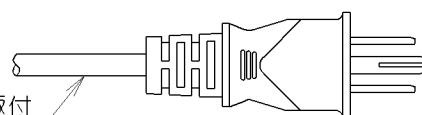


## 電源コード、アース接続について

■電源用として2極接地極付差込接続器(7A 125V)を採用しています。コンセントは JIS C 8303 2極接地極付接続器(15A 125V)をご使用ください。

■アース線の接続は工場出荷時に行われていますので新たに接続する必要はありません。専用コンセントのみご用意ください。

プラグ：2極接地極付



## 電動ダンパー用AC100V出力線について

※製品の仕様によっては出力線がない場合があります。

■電動ダンパーを取り付ける際は、閉端子部を切断して接続してください。

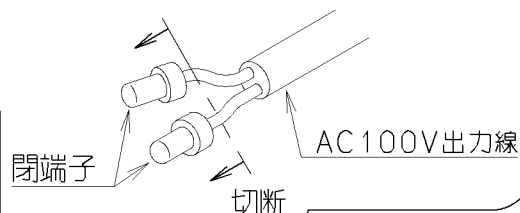


警告

閉端子部を切断する際は、絶対にレンジフードの電源コードをコンセントに入れないこと。感電やショートのおそれがあります。



禁止



9003 C881